

---

# 宇都宮市

## 水道百周年 下水道五十周年史

---

### 目次

---

ごあいさつ

写真編

---

通史編

## I 世界と日本の水道・下水道の起源

第1節 水道の歴史	10
第2節 下水道の歴史	18

## II 宇都宮の水道の歴史

### 第1章 創設期の水道

第1節 水道布設と諸問題	30
Column 亀井の水 —宇都宮の名所七水 その1—	45
第2節 水道布設工事と給水開始	46
Column 水を求めて —宝木用水と新川用水の開削—	70

### 第2章 大正・昭和前期の水道

第1節 大正期の水道整備と諸問題	74
第2節 昭和戦前期の宇都宮と水道	90
Column 滝の井 —宇都宮の名所七水 その2—	96

<b>第3章 戦争の時代と水道</b>	
第1節 水道拡張計画と宇都宮空襲	98
第2節 戦災からの復旧工事	104
Column 井戸と川端 —水道以前の水—	116
<b>第4章 戦後復興期の水道</b>	
第1節 水道創設事業の拡張	120
第2節 第1期拡張事業	132
Column 篠井の地名由来	144
第3節 水道拡張事業のはざままで —簡易水道に託した地域—	145
Column 逆面の弁天池 —ネギを洗った名水—	165
<b>第5章 高度経済成長と拡張事業の展開</b>	
第1節 第2期拡張事業	168
Column 平出雷電神社の湧水 —雨乞いの水—	181
第2節 白沢に水源を求めて—第3期拡張事業—	182
Column 白沢宿の用水堀 —旅人の癒しの水—	191
<b>第6章 市街地の拡大に伴う拡張事業の展開</b>	
第1節 変更・延長を迫られる第3期拡張事業	194
第2節 難航する事業のなかで —第4期拡張事業—	201
第3節 鬼怒川左岸台地への給水 —第5期拡張事業—	210
第4節 水道事業の転換期 —第6期拡張事業—	224
第5節 平成の大合併	234
<b>第7章 持続可能な水道事業を目指して</b>	
第1節 安全でおいしい水を目指して	242

第2節 経営基盤の安定化に向けて	254
第3節 災害と水道	261

### Ⅲ 宇都宮の下水道の歴史

第1章 明治期における衛生と下水道	
第1節 コレラの流行と宇都宮の下水事情	274
第2節 環境法令の制定と下水道	279
第2章 下水道整備への長い道のり	
第1節 汚物処理問題と下水渠の整備・改修	284
第2節 汚染問題と水害対策 —田川と釜川—	293
第3章 待望の下水道整備へ	
第1節 戦後復興と下水道整備	300
第2節 下水道事業のはじまり	307
第4章 都市化へ対応する下水道整備	
第1節 本格化する下水道整備	318
第2節 下水道の料金	338
第5章 拡張する下水道整備	
第1節 下水道整備の新たな動き	346
第2節 河川の環境保全と浸水対策	368
第3節 生活排水処理事業の展開	386

## 第6章 多様化する下水道の役割と課題

第1節 組織改編と災害対応	394
第2節 これからの下水道事業	405

# IV 新たな100年に向けて

第1節 宇都宮市上下水道局の経営理念	429
第2節 宇都宮市上下水道の基本構想と基本計画	431
第3節 新水道ビジョンと新下水道ビジョン	438
第4節 新たな100年への期待と希望	443

---

資料編	447
年表	591
参考文献	600
記念誌編さん体制等	604
編集後記	607

## 宇都宮市域の変遷



### ■ 凡例

①	明治 29 年 4 月 1 日	⑦	昭和 27 年 4 月 1 日	⑬	昭和 29 年 10 月 1 日
②	昭和 9 年 1 月 1 日	⑧	昭和 27 年 6 月 1 日	⑭	昭和 29 年 11 月 1 日
③	昭和 14 年 4 月 1 日	⑨	昭和 28 年 6 月 1 日	⑮	昭和 30 年 4 月 1 日
④	昭和 17 年 7 月 1 日	⑩	昭和 29 年 8 月 1 日	⑯	昭和 32 年 4 月 1 日
⑤	昭和 24 年 4 月 1 日	⑪	昭和 29 年 8 月 10 日	⑰	平成 19 年 3 月 31 日
⑥	昭和 26 年 6 月 1 日	⑫	昭和 29 年 9 月 25 日		

## 凡 例

- ・本書は、通史編（Ⅰ 世界と日本の水道・下水道の歴史、Ⅱ 宇都宮の水道の歴史〈第1章～第7章〉、Ⅲ 宇都宮の下水道の歴史〈第1章～第6章〉、Ⅳ 新たな100年に向けて）、写真編、資料編の3部で構成されている。
- ・通史編Ⅰでは、序論として世界と日本の水道・下水道の歴史について概観した。Ⅱでは、宇都宮への水道布設の機運が高まった明治期から平成23年に発生した東日本大震災を契機とした災害対策までを記述した。Ⅲでは、昭和30年代にはじまった当市下水道事業以前の歴史と下水処理がはじまった昭和40年から平成28年度までの下水道事業に関する歴史を記述した。Ⅳでは、当市上下水道局の経営理念と経営の柱である『上下水道基本計画』を中心に、これからの当市上下水道事業の展望について記述した。
- ・資料編として、当市上下水道事業における関連資料および年表を掲載した。
- ・本書の用字・用語は、特定の術語、固有名詞のほかは、原則として新字体および現代かなづかいを使用した。引用文については、「」またはゴシック体（新聞からの引用のみ）にして表すとともに、引用文献等については引用文末に（）で明記した。
- ・法令、規則、資料等は原典どおりとするが、読みやすさ等を考慮して、難解な漢字については一部ルビをふったものがある。
- ・数字はアラビア数字を用い、億、万の単位語を用いた。
- ・平成28年12月現在までの宇都宮市については「当市」と記述している。ただし、明治期から昭和30年4月（いわゆる「昭和の大合併」）までは、現在の宇都宮市全域を指している訳ではなく、これと区別するため、文脈に応じて「宇都宮」あるいは「市当局」などと記述している。
- ・図表中、管渠の形状について使用した「φ」は鋳鉄管を意味する。
- ・暦年表示は和暦を用い、各章初出では和暦とともに西暦を併記した。（例：平成28（2016）年）
- ・度量衡はメートル法を基本とし、尺貫法を用いた場合は換算値を付記した。ただし、資料引用部分についてはそのまま記述した。また尺貫法以外の単位は原則として単位記号を用いた。（例：キロメートル=km、ヘクタール=ha）
- ・人名は敬称を省略した。
- ・本書に掲げる図表については、章ごとに通番を付した。
- ・引用している資料には、今日からすると社会的差別にかかわる表現があるが、記述された時代および原典資料の歴史性を考慮して、そのままとした。